

一 般 (個 人) 質 問 通 告 一 覧 表

令和5年第4回笠岡市議会定例会

6月12日・13日・16日(3日間)

通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1 栗尾 典子	<p>1 市長のフェイスブックの取扱いについて</p> <p>2 高齢社会におけるバリアフリー施策について</p>	<p>これまでも指摘してきたが、外部リンクしている「小林嘉文」氏のフェイスブックは、極めてプライベートな発信である。これまでも多くの問題と指摘を受けている。</p> <p>また、フェイスブックの発信により市民を混乱させ、不安にさせてきた事実がある。プライベートな情報発信であれば笠岡市のホームページからのリンクを外すべきではないのか。なぜ外すことができないのかを尋ねる。</p> <p>独り暮らしの高齢者は、2050年には、男性が人口の20%、女性が人口の25%を占めると予想されている。笠岡市でも高齢者を支える施策は多々あるが、独り暮らしの高齢者が安心・安全に生活できるために、どのような観点で施策を進めていこうとしているのかを尋ねる。</p> <p>(1) 現在、タクシーチケットの配布による公共交通の補助をしているが、今後ますます増え、財政を圧迫していくことが予想される。今後の高齢者等の移動手段の確保をどう考えているのか。</p> <p>(2) 高齢者は加齢による心身の衰えから社会生活に様々な支障が出てくる。しかしながら、マンパワー不足に対応するためにデジタル化が進み、機器の扱いの習得が困難な高齢者はますます生活しにくくなってくる。</p> <p>タッチパネルの見えにくさにはじまり、JRのみどりの窓口無人化問題、災害時の情報取得の困難さ、ゴミ分別、ゴミ出しの困難さ等々、現在の生活において既に問題</p>	<p>市 長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p>

	<p>3 太陽光パネル設置における景観と生態系維持の考えについて</p>	<p>を抱えている。このようなことに本市はどのように対応していくのか。具体的な施策と今後の展望を尋ねる。</p> <p>2050年カーボンニュートラルを目指すとした岸田首相の発言により、国は、総力を挙げてますます再生可能エネルギーの導入拡大を目指している。しかしながら、安全面の不安や、景観や環境への影響、廃棄対策等が地域の懸念材料となっている。</p> <p>今回は、太陽光パネル設置における景観と環境の維持について笠岡市の考えを尋ねる。</p> <p>(1) パネル設置における景観への影響をどのように考えているのか。</p> <p>(2) パネル設置における環境保全や生態系への影響をどのように考えているのか。</p> <p>(3) 岡山県は「岡山県太陽光発電施設の安全な導入を促進する条例」を設置しているが、さらに笠岡市において独自の太陽光発電施設設置に関する条例等の設置を考えているか。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
<p>2 大山 盛久</p>	<p>1 JR笠岡駅周辺整備事業について</p>	<p>笠岡市の示す都市計画マスタープランに従い、立地適正化計画の下、本年度当初予算にて1,462万円を計上し駅舎を中心とした整備計画を進めようとしている。周辺整備の基本構想の骨子は、第7次総合戦略や産業振興ビジョンとの整合性や関連する整備計画などに則しながら進めていくものである。</p> <p>現在、笠岡駅南に位置する商業施設周辺では高層住宅が完成し、賑わいを取り戻しつつあるが、駅の北側、すなわち駅の入り口周辺、商店街では空き店舗が目立ち、人の往来も朝夕の通勤通学者のみの印象だ。中心市街地の活性化を課題として取り組むマスタープランでは「未利用地を活用した効率的、効果的な土地利用が求</p>	

	<p>2 鳥獣被害の現状と対策について</p>	<p>められています」と示されている。駅にほど近い、利用価値の高い分庁第2跡地の活用について尋ねる。</p> <p>(1) 跡地の活用について、サウンディング等でアイデアを募ったか。</p> <p>(2) 現在、月極駐車場として新規に利用者を公募しているが、利用期間は決まっているか。</p> <p>(3) 取壊し計画時当初の予算と実際にかかった費用との差額分についてどう考えているか。</p> <p>(4) 今後の運営方針をどう考えているか。(売却の予定はあるか。)</p> <p>鳥獣被害は営農意欲の減退、耕作放棄・離農の増加、さらには森林の下層植生の喪失等による土壌流出、希少植物の食害等の被害をもたらしている。地区によってばらつきはあるが、近年では島しょ部での被害が大きくなってきている。鳥獣被害対策は個体群管理、侵入防止対策、生息環境管理である。</p> <p>(1) 駆除班との契約、規約等の整備、被害防止や捕獲した鳥獣の有効利用に係る研修などを実施しているか。</p> <p>(2) ICT等の導入による対策強化を行っているか。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p>
<p>3 大本 邦光</p>	<p>1 熱中症対策の推進について</p>	<p>いつでもどこでも誰でも、条件次第で熱中症にかかる危険性がありますが、熱中症は正しい予防方法を知り、普段から気をつけることで防ぐことができます。例えば、初夏や梅雨明けなど、体が暑さに慣れていないのに気温が急上昇するときは特に危険です。無理せず、徐々に体を慣らす必要があります。</p> <p>昨今、気候変動の影響により、国内の熱中症死亡者数は増加傾向が続いており、近年では年</p>	

	<p>2 発達性読み書き障害(ディスレクシア)の対策について</p>	<p>間 1,000 人を超える年が頻発するなど、自然災害による死亡者数をはるかに上回っています。また、今後、地球温暖化が進行すれば、極端な高温の発生リスクも増加すると見込まれ、我が国において熱中症による被害がさらに拡大するおそれがあります。こうした状況を踏まえて、今後起こり得る極端な高温も見据えて、熱中症の発生の予防を強化するための取組を一層強化することが必要と考えます。</p> <p>(1) 熱中症から地域住民の生命を守るための取組の推進について、本市の熱中症対策マニュアル等の作成やWBGT(暑さ指数)の認知度向上や行動変化につながる情報発信も必要と考えますが、見解をお示してください。</p> <p>(2) 高齢者の熱中症に対する予防への意識を醸成するための取組について、地域と連携した対策等についてお尋ねします。</p> <p>発達性読み書き障害であるディスレクシアは、学習障害の1つのタイプとされ、全体的な発達には遅れはないのに文字の読み書きに限定した困難があり、そのことによって学業に不振が現れたり、二次的な学校不適應などが生じる疾患です。知能や聴いて理解する力、発話で相手に自分の考えを伝えることには問題がないとしても、読み書きの能力だけに困難を示す障害のことを言います。日本の小学生の約7～8%に存在すると言われております。したがって、読み書きを苦手とする児童は、クラスに平均2～3人いると見られます。ディスレクシアは、周りの人が理解し適切なサポートをすることで、困難さを軽減することもできるとされています。</p> <p>(1) 公立小中学校において、ディスレクシア</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>教育長</p>
--	------------------------------------	---	---------------------------------

		<p>の疑いがある児童・生徒をどの程度把握されているのかお尋ねします。</p> <p>(2) 読み書き障害(ディスレクシア)を早期に発見できる取組も必要と考えます。現在、本市の教育現場では、どのような検査等が行われているのかお尋ねします。</p>	教育長
4 桑田 昌哲	1 保育所等の広域入所の緩和について	<p>国は、次元の異なる少子化対策の実現に向け「こども・子育て支援加速プラン」を発表しています。たたき台を基に、6月の「骨太の方針」の策定をする予定であります。5月30日に2026年度にも、親の就労を問わず保育利用できる「こども誰でも通園制度(仮称)」を発表しています。</p> <p>笠岡市としては、令和5年1月26日の厚生産業委員会協議会において、保育所等の広域入所の緩和を目的とした、笠岡市広域保育実施要綱の見直し内容を提示されています。見直し内容は、井笠圏域で保育施設への入所を希望する家庭の保育ニーズに応えるため、条件の緩和と統一を図り、長期的な視点に立って、圏域で連携して広域入所を促進するというものであります。</p> <p>圏域の市町を入所状況を確認すると、ほとんどの園が定員に達している状況であり、①笠岡市として少しでも市内の園需要拡大を考えると、②利用される方の利便性を考えることの2つが肝要であると考えられます。</p> <p>このような現状がある中で、近隣市町に住む方から広域保育について相談がありました。子供を笠岡市内の保育所に通わせたいと思っているが、他市と笠岡市との条件が違い、基準外で保育所に入れなかったとの言葉を貰いました。広域入所における基準がどのようになっているのか、今後どのようにしていくのかという観点から以下3点を尋ねます。</p>	

		<p>(1) 笠岡市保育の必要性の認定に関する規則第3条第1号において、1箇月に64時間以上就労していることを常態としている、と規定している経緯について尋ねます。</p> <p>(2) この度、こども家庭庁から、2026年度にも親が就労していなくても保育を利用できる制度を始めるとの発表がありました。しかし、制度開始までの間は、国が定める「保育短時間」においては、就労時間の下限を1か月当たり48時間以上64時間以下とする基準での利用となります。</p> <p>笠岡市と他市町とでは就労時間の基準が違っています。笠岡市は、1か月64時間以上、矢掛町は、1か月60時間以上、福山市、浅口市、井原市、里庄町は48時間以上となっています。</p> <p>井笠圏域内での条件緩和と統一についてどのように考えているか尋ねます。</p> <p>(3) 広域入所を実施して以降、他市町からの子供の広域入所の状況について尋ねます。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
5 山本 聡	1 さらなるDX推進に向けた取組について	<p>現代的な豊かさの尺度は生活の質に移った。経済面もさることながら、人生に夢を描くことだ。これを結果的に後押ししたのが皮肉にもコロナ禍であった。毎日の通勤から解放されることを経験し、必要に応じて職場に出向くだけでほぼ仕事が完了する。製造現場の多くは自動化でき、買い物はインターネット上でもできる。役所手続も同様にシステムティックになり始めた。教育現場でも、応用や実験は教員が行い、基本知識はオンラインで教えられる。医療は診断にAIを多用すれば良い。制度を刷新すれば地方でも高度医療を享受できる。仕事、消費、教育、医療のそれぞれの分野で不自由ない生活が実現できる。</p>	

	<p>2 関係人口の創出への取組について</p>	<p>西栗倉村では、民間委託したアプリ住民票の登録人数が1,970人と4月末現在の住民登録人口1,354人(男性641人,女性713人,外国人を含む)を大幅に上回る。アプリを活用した関係人口を増やす手法として、村の通販サイトと連携し、電子スタンプや割引クーポンを発行し、村の求人情報なども提供している。定期的にアプリを立ち上げる人の割合は3割を超え、会員に近い形と言えるかもしれない。豊かな自然と広い家を得られれば、子供を含め家族との時間が増える。このようにすることで、一人家族を増やしたいと考える方が増加するのではないかと考え、以下、お尋ねする。</p> <p>(1) デジタル推進課の増員について</p> <p>(2) 仮想市役所の実験について</p> <p>(3) 笠岡市ホームページの刷新(広報かさおかデザイン含む)</p> <p>(4) 医療VRの導入</p> <p>(5) 不動産ID(政府検討)とのひもづけ</p> <p>笠岡をよりよく知ってもらい、将来の定住につなげるための関係人口の創出は、人口減少に悩む地域課題解決の方策の1つだ。地勢や歴史、風土や文化状況を含め、多様な条件のある中、地域の人々が愛着を感じたり、誇りに思えるような「地域資源」に“みがき”がかかったり、新たな「地域資源」の発見につながる、人の往来をいかに演出するか。あらゆる機会を捉え情報を発信、また行動を起こすべきであると考え、以下お尋ねする。</p> <p>(1) 19回目を迎えた木山捷平文学選奨の募集が始まった。ちまたでは老若男女を問わず短歌ブームであるのに、短編小説部門以外の部門の応募資格が市内関係者に限られているのはなぜか。</p>	<p>関係部長 市長 関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>市長</p>
--	--------------------------	--	---

		<p>(2) 干拓産ブロッコリーは他の生産地の物と比較して糖度が高く，全国で生産を展開する生産法人役員の方から一番美味しいと言われている。ふるさと納税品として，あるいは収穫体験の場として活用できないか。</p> <p>(3) 干拓内の乳牛による搾乳体験(セラピーなど)ができないか。</p> <p>(4) 地域産品の消費を要件とした素泊まり宿泊施設の整備ができないか。</p> <p>(5) 「都市」で働く，「地方」で働く，週末を過ごす，ワーケーションの場として島しょ部の活用が見込まれるが，インフラ整備(情報通信)をいかに進めていくか。</p>	<p>市長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
6 齋藤 一信	<p>1 がん患者に対するアピアランス(外見)サポートについて</p> <p>2 墓石撤去への助成金制度について</p>	<p>がん患者に対するアピアランス(外見)サポートは，脱毛や乳房切除など，がん治療による外見の変化に悩む患者に対し，補整具の購入費用を一部助成するという事業です。</p> <p>県下では岡山市で，がん患者の皆さまの社会活動を応援し，療養生活の質がよりよいものになるように，アピアランス(外見)サポート事業としてウィッグ購入費用の一部の助成を開始しています。対象は，治療に伴う脱毛に対応する医療用ウィッグ(医療用髪付き帽子も対象)や，乳がん手術によって切除した乳房を隠す人工乳房，補整下着。医療用ウィッグと人工乳房は上限5万円，補整下着は上限1万円まで補助されます。</p> <p>笠岡市でもぜひ，早急に実施をすべきと考えますが，市のお考えをお尋ねします。</p> <p>空き家の管理が行き届かないという問題を，多くの笠岡市民が抱えております。相続人がいないことからこの問題は起こっていますが，現在，空き家だけでなくお墓の維持管理も課題となっています。無縁墓への対応は近年，家族の</p>	<p>関係部長</p> <p>関係部長</p>

	<p>3 笠岡市のふるさと納税の分析について</p>	<p>核家族化や地域の人口減少などの社会的変化により、今後ますます増加していくと予想されます。</p> <p>このような状況の中、市営墓地において助成金によってお墓を撤去し更地に戻すことを促すことにより、無縁墓を作らない効果と合わせて、市営墓地の有効利用につながると考えますが、市の墓石撤去への助成金制度の設立についてのお考えをお尋ねします。</p> <p>笠岡市のふるさと納税に対する取組について、市の分析・評価をお尋ねします。</p> <p>(1) 返礼品販売コストについて、市はどう分析・評価していますか。</p> <p>(2) 寄附金額の推移について、ピーク時 2017 年度寄附金額約 8 億 8 千万円から昨年 2022 年度の寄附金額の推移について、その分析・評価をお尋ねします。</p> <p>(3) 笠岡市のふるさと納税額のうち、恒常的事業額の占める割合についてお尋ねします。</p> <p>また、ふるさと納税は一時的な寄附であり、寄附金の額や時期は寄附者の意向や経済状況によって変動します。恒常的事業にこのような一時的な寄附金への依存率を高めることは、将来的な収入の安定性が欠如し、事業の継続に問題が生じる可能性があると考えます。市の御所見をお尋ねします。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
	<p>4 文科省による不登校の総合対策「C O C O L O プラン」について</p>	<p>不登校の小中高生が急増している事態を受け、文部科学省は 3 月末、不登校の総合対策「C O C O L O プラン」を新たに策定しました。誰も取り残さない学びの保障へ、不登校特例校の増設や保護者への支援などが明記されています。公明党では、これまで不登校支援 P T、教育改革推進本部において 4 度、永岡文部科学大臣に</p>	<p>教育長</p>

		<p>申入れを行い，同プラン策定について尽力しました。同プランでは，「学びにアクセスできない子どもたちをゼロにする」ことを目指し，不登校特例校やスペシャルサポートルーム等の設置促進，1人1台端末を活用し，健康観察を行う取組も盛り込まれています。</p> <p>このことを受け，不登校の総合対策「COCOLOプラン」策定を受けて笠岡市の既存の不登校支援施設及び体制の充実を図られることに期待します。教育委員会のお考えをお示してください。</p>	
7 藤井 義明	<p>1 南消防署設置について</p> <p>2 金浦中学校ブロック施設一体型小中一貫教育校について</p>	<p>南消防署設置については，撤回をされていない状況がある。現在の進捗状況を尋ねる。</p> <p>(1) 令和5年3月の本会議では，金浦中学校ブロック施設一体型小中一貫教育校建設案について，市長は安全であるとの主張を変えなかったが，どのようにお考えか尋ねる。</p> <p>(2) 金浦中学校ブロック施設一体型小中一貫教育校開設について，令和5年3月22日に予算修正があった翌日までの間に新たな校舎建設案を作成し，整備検討委員会に提出されたとの説明があったが，いかにも不自然である。新しく作成したと説明した案は，当初から作成していたのではないのか尋ねる。</p> <p>(3) 金浦中学校の敷地に2か所の土砂災害警戒区域がかかっていることを認識したのは令和4年9月末頃との説明があったが，間違いないか尋ねる。</p> <p>(4) 整備検討委員会に土砂災害警戒区域について説明したのは令和5年2月10日との説明があったが，なぜ早急にしなかったのか理由を尋ねる。</p> <p>(5) 議会への説明も予算計上後の令和5年3</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

		<p>月定例会で、議論をする時間もない状況である。議会に対し、事前に説明する必要はないと考えたのではないかと尋ねる。</p> <p>(6) 金浦中学校の敷地に2か所の土砂災害警戒区域がかかっていることを、以前から認識していたと考えるがどうか尋ねる。</p> <p>(7) 金浦中学校ブロック施設一体型小中一貫教育校建設は、B案にする方向で進んでいるようであるがどうか尋ねる。</p>	<p>教育長</p> <p>”</p>
8 原田 てつよ	<p>1 笠岡市・里庄町自立支援協議会について</p> <p>2 市委託の身体・知的障害者相談員について</p> <p>3 NPO法人スポーツ巡回ネットワークへの協力について</p>	<p>笠岡市・里庄町自立支援協議会の設立総会が令和2年に行われてから今年で4年目となり、5月31日に令和5年度総会が行われました。</p> <p>また、国では障害者総合支援法の改正が昨年12月に成立し、令和6年4月1日より施行されます。</p> <p>改正の概要の1つに自立支援協議会の機能強化とあるのを踏まえ、以下お考えをお尋ねいたします。</p> <p>(1) 位置づけについて</p> <p>(2) 目的について</p> <p>(3) 本年度総会に参加しての感想</p> <p>障害がある者の福祉の増進を図るため、障害がある者の更生援護に熱意と識見を持っている者に身体・知的障害者相談員として委託できるとの法に基づき、本市でも要綱を定め、委託契約している相談員がいます。</p> <p>このことについて、以下お尋ねいたします。</p> <p>(1) 身体・知的相談員の人数と相談件数</p> <p>(2) 相談員の必要性についての考え</p> <p>子供のスポーツ離れを食い止めるとともに、スポーツ教室・スポーツ指導者の少ない過疎地域を訪問して「スポーツの地域格差をなくしたい」との理念のもと、徳島県の有識者が集まって構成されている“NPO法人スポーツ巡回ネ</p>	<p>市長</p> <p>”</p> <p>関係部長</p> <p>関係部長</p> <p>”</p> <p>市長及び教育長</p>

		<p>ットワーク”という団体があります。</p> <p>一昨年より笠岡諸島の北木小学校や六島小学校でのサッカー教室を開催，両校のサッカー交流を含め，北木小学校とポリビアの大学生とのオンライン交流，また，北木小学校と徳島の平谷小学校とのオンライン交流が実施されました。</p> <p>また，六島小学校と丸亀市立本島小学校とのオンライン給食交流も本年4月26日に開始し，ゴールデンウィーク以降，毎週水曜日に続いていると聞いています。</p> <p>本年度も笠岡諸島サッカー教室を笠岡青年会議所との共催で計画中であると聞いています。</p> <p>先日，代表の方と市長が面談され，全面協力するとのお声をいただいたとお聞きしました。</p> <p>現時点での，市長・教育長のお考えをお尋ねいたします。</p>	
9 真鍋 陽子	1 令和5年4月9日投開票岡山県議会議員選挙について	<p>(1) 4月9日投開票岡山県議会議員選挙笠岡選挙区において無効票が168票出ている。所定の用紙を使用していない，資格のない候補者名を書く，2人以上の候補者の氏名を書くなど，無効票に該当する要件は様々ある。候補者名に「がんばれ！」など追記した場合も無効票であるが，こういった事例は有権者に周知できているのかを尋ねる。また，主権者教育の場において伝えられているのかを尋ねる。</p> <p>(2) 投票所入り口などに，無効票に該当する事例を掲示することはできるか。ホームページで周知を図る，また，広報かさおかで特集するなどして周知できるのかを尋ねる。</p> <p>(3) 投票所を高齢者や様々な障害のある方など，誰もが投票しやすい環境にするため，</p>	<p>選挙管理委員会委員長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

		<p>いかに工夫をしているのか。また、それをどのように周知しているのか、コミュニケーションボードの設置はできるのかを尋ねる。</p> <p>(4) 4月9日投開票岡山県議会議員選挙笠岡選挙区において、投票所来場カードが初めて配布された。配布枚数を尋ねる。また、この度は事前周知なく配布されたため、気づかなかったという声もいただいている。今後、広報かさおかなどで配布を告知することはできるかを尋ねる。</p> <p>(5) 4月9日投開票岡山県議会議員選挙笠岡選挙区においては、2票差で当落が決まり、改めて1票の価値を実感することとなった。1票の価値について有権者の皆様に、いかに伝えていくことができるのかを尋ねる。</p>	<p>選挙管理委員会委員長</p> <p>〃</p>
2	移住・定住・関係人口政策について	<p>(1) 令和4年度転入・転出において19歳から29歳までは日本人の転出が転入を上回っている一方で、外国人の転入は転出を大幅に上回っている状況について、いかに捉えているか。今後具体的にどういった方向性で移住定住関係人口政策を進めていこうと考えているかを尋ねる。</p> <p>(2) 子育て世代の移住・定住を進めていく中、十分な広報活動ができ、政策を打ち出せていると考えているかを尋ねる。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p>
3	学校教育について	<p>(1) 令和3年、令和4年に開かれた笠岡市特別支援教育推進委員会は、笠岡市内における特別支援教育にどのような成果をもたらしたのかを尋ねる。</p> <p>(2) 令和4年12月議会における個人質問で、支援が必要な子供たちについて、とした質問に対し、トモニ療育センター河島淳子先</p>	<p>教育長</p> <p>〃</p>

		<p>生をお招きし，学校の先生方や施設の方々を対象とした研修会のようなものができたらいい，など答弁があった。その後，具体的な検討は進んでいるのかを尋ねる。</p> <p>(3) 令和3年9月定例会において，特別支援教育対象の生徒本人や保護者向けの情報交流学習会などを開催して欲しいと要望した際「できることを考えてみたい」と答弁いただいている。その後の進捗状況などを尋ねる。</p> <p>(4) 高校受験における合理的配慮について，生徒や保護者に対してどのように周知を行っているのかを尋ねる。</p> <p>(5) 令和5年3月，「改訂版通常の学級の特別支援教育ガイド」が岡山県教育庁特別支援教育課から発行されているが，市内小中学校においてこのガイドブックはどのように活用されているのかを尋ねる。同じく同課より「小・中学校の特別支援教育の一層の推進に向けて」という資料が出ており，市町村や各中学校区に特別支援教育推進リーダーを指名することについて言及している。笠岡市内において特別支援教育推進リーダーは指名されているのか。指名されている場合，現在どのような役割を担い，活動しているのかを尋ねる。</p> <p>(6) 教職員，支援員に対する特別支援教育に関わる研修は，いかに行われているのかを尋ねる。</p> <p>(7) 通常学級における多層指導モデルM I Mの活用に向け，今年度は指導教諭による公開授業が行われている。公開授業においては紙による多層指導モデルM I Mの指導が行われていた。参加人数と，参加された方</p>	<p>教育長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
--	--	--	---

		<p>の感想などを尋ねる。また、小学校1年生、2年生だけでも1人1台タブレットの中に導入することはできるかを尋ねる。</p> <p>(8) 不登校状態にある生徒の、自宅における1人1台タブレットを利用した学習を出席として認める事例が岡山県内において出てきている。笠岡市内においてはどのような状況になっているかを尋ねる。</p> <p>(9) 令和5年3月、文部科学省が「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)」を発表、その中には「不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整えます」「多様な学びの場、居場所を確保します」「こども家庭庁とも連携し、身近な地域で、人とつながり、学びに向かう土台づくりや様々な体験活動ができるよう、学校や家庭以外の多様な居場所づくりを広げます」「不登校の児童生徒の学びの場として、夜間中学を活用するとともに、多様な居場所として公民館、図書館等の社会教育施設を活用します」とある。支援計画に基づいた指導を行っている放課後等デイサービス、公民館、図書館、学校との連携が取れている市内外のNPO法人やフリースクール、学習塾などで対面による指導を基に1人1台タブレットを利用した学習を行った場合に、出席扱いにできるための要件を尋ねる。</p> <p>(10) 令和3年12月議会において、個別の教育支援計画を対象である児童生徒全ての保護者に渡すことを義務化していただきたいと要望した。その後の取組について尋ねる。</p> <p>(11) 令和4年12月議会において、笠岡市相談支援ファイル「かけはし」について言及し</p>	<p>教育長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
--	--	--	---------------------------------------

		た。その後の周知活動及び配布状況について尋ねる。	
10 森岡 聡子	1 戦没者追悼式について	<p>「核兵器のない世界の実現という理想をG7広島サミットで共有した」と岸田首相の言葉がありましたが、戦後77年が経過し、戦没者遺族の高齢化が進み追悼式に参列する遺族の参列者も年々減少している状況です。</p> <p>(1) 次世代に、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えるためにもどのような形で残していくのか。</p> <p>所見をお尋ねします。</p> <p>(2) 遺族らの高齢化により、慰霊碑や忠魂塔の維持・管理が難しくなっている状況です。</p> <p>「碑は文化財として捉え、自治体が管理し、郷土教育に活用するのが望ましい。」との声もありますが、本市の考えをお尋ねします。</p>	市長
	2 コロナ5類移行について	<p>新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類へ移行となり、“感染対策の緩和”“医療体制”の変更等の発表がありました。</p> <p>(1) 5類移行に伴う本市の取り組みと問題点について、お尋ねします。</p> <p>(2) 5類移行に伴う対応の変更について、お尋ねします。</p> <p>(3) 医療体制について、お尋ねします。</p> <p>(4) 5類移行後、岡山市内の中学校で新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖が発表されました。</p> <p>本市での状況等について、お尋ねします。</p>	関係部長
	3 県立高校再編について	<p>岡山県立高の再編(統廃合)を巡り、1年生が一定数に満たない高校を統廃合や募集停止の対象とする県教委の基準に、本市にある笠岡工業高校が該当しています。</p>	教育長

		県の事業ですが、このことについて、本市としてどのように受け止めていますか。また、本市の支援策等についてお尋ねします。	
--	--	--	--